

〔科目名〕 経営演習Ⅰ				〔単位数〕 4単位		〔科目区分〕 演習科目	
〔担当者〕 紫関正博						〔授業の方法〕 演習	
〔演習テーマ〕 企業会計と企業分析，会計の仕組みを学ぶ							
〔演習内容〕 会計は、ビジネスの言語として、現代の社会において不可欠なツールとなっています。企業が行う会計実務に対する理解が深まると、企業をより詳しく理解し、経営判断を行う力が身に付きます。 「経営演習Ⅰ」では、企業の経営判断を行う上で前提となる現代の会計を理解するために、テキストの輪読を中心に学習し、現代の会計を学ぶ上で必要な基本的な会計理論，会計実務，会計規則を学び，財務諸表分析を行う上で不可欠な基本的な技法を習得します。 ゼミでは，輪読以外にも，企業の会計に関する話題を取り上げ，簿記と会計に関する演習も時折取り入れながら進める予定です。 ゼミの進捗状況などにより，場合によっては，ゼミ生と相談した上で，演習内容を変更することもあります。							
〔科目の到達目標〕 企業が行う基本的な会計実務と会計理論，会計規則を学び，企業の財務情報を読み解く上で必要な前提知識を身に付けて，説明できることを目標とする。 ①基本的な会計実務，会計理論，会計規則を学び，理解すること。 ②企業会計制度の視点から，会計を社会的・制度的な仕組みとして考え，理解すること。 ③上記の学習から理解したことを，発表やレポートで説明できること。							
〔ディプロマ・ポリシー（DP）との関係〕							
学部				学科			
DP1 ○	DP2	DP3	DP4	DP1	DP2	DP3 ○	
〔前提条件〕 ・積極的にゼミに参加することが求められます。 ・日商簿記３級程度の知識があることが望ましい。							
〔学修の課題、評価の方法〕（テスト、レポート等） ・ゼミへの参加と貢献（質疑応答など），発表，レポート（各学期末に予定）を総合して評価する。							
〔教科書等〕 ＜教科書＞ ・郡司 健 著『現代会計の基礎と応用』，中央経済社，2019 年。 ・松村勝弘・松本敏史・篠田朝也・西山俊一 著『新訂版 財務諸表分析入門—Excel®でわかる企業力—』，株式会社ビーケーシー，2015 年。 ※テキストは変更する場合がありますので，初回の授業で提示します。 ＜参考書＞ ・鈴木義夫・千葉修身 著『会計研究入門—“会計はお化けだ!”』，森山書店，2015 年。							
〔実務経歴〕 なし							

授 業 スケ ジ ュ ー ル	
時 期	テ ー マ と 内 容
第 1 回 ～ 第 3 回	テ ー マ : 会 計 と は 何 か 内 容 : 会 計 研 究 の 方 法
第 4 回 ～ 第 5 回	テ ー マ : 簿 記 と 会 計 内 容 : 簿 記 と 会 計 の 関 係 性
第 6 回 ～ 第 8 回	テ ー マ : 損 益 計 算 書 内 容 : 費 用 と 収 益 の 会 計 , 損 益 計 算 書 の 構 造 と 原 則
第 9 回 ～ 第 12 回	テ ー マ : 貸 借 対 照 表 内 容 : 資 産 と 負 債 ・ 純 資 産 の 会 計 , 貸 借 対 照 表 の 構 造 と 原 則
第 13 回 ～ 第 15 回	テ ー マ : キャッシュ・フロー計算書 内 容 : キャッシュ・フロー計算書の構造, キャッシュ・フローの有用性
第 16 回 ～ 第 18 回	テ ー マ : 会 計 の 仕 組 み 内 容 : 社 会 的 ・ 制 度 的 な 仕 組 み と し て の 会 計
第 19 回 ～ 第 22 回	テ ー マ : 個 別 財 務 諸 表 と 連 結 財 務 諸 表 内 容 : 財 務 諸 表 の 作 成 規 則 と 財 務 諸 表 の 種 類 , 連 結 財 務 諸 表 の 作 成 方 法
第 23 回 ～ 第 30 回	テ ー マ : 財 務 諸 表 分 析 の 手 法 内 容 : 個 別 財 務 諸 表 と 連 結 財 務 諸 表 の 分 析 手 法